

哲学する繭

折
てつが
鳳
学
子
す
る

糸
ゆ

The
Philosophying
Cocoon

この気持ちは繭の中
隠してしまおう

誰にも知られては
いけない大事なものだ

実ることも
散ることも
許されない

だから僕が繭の中で

考えるのを止めたとき

その時初めて「失恋」と言えるのだろう

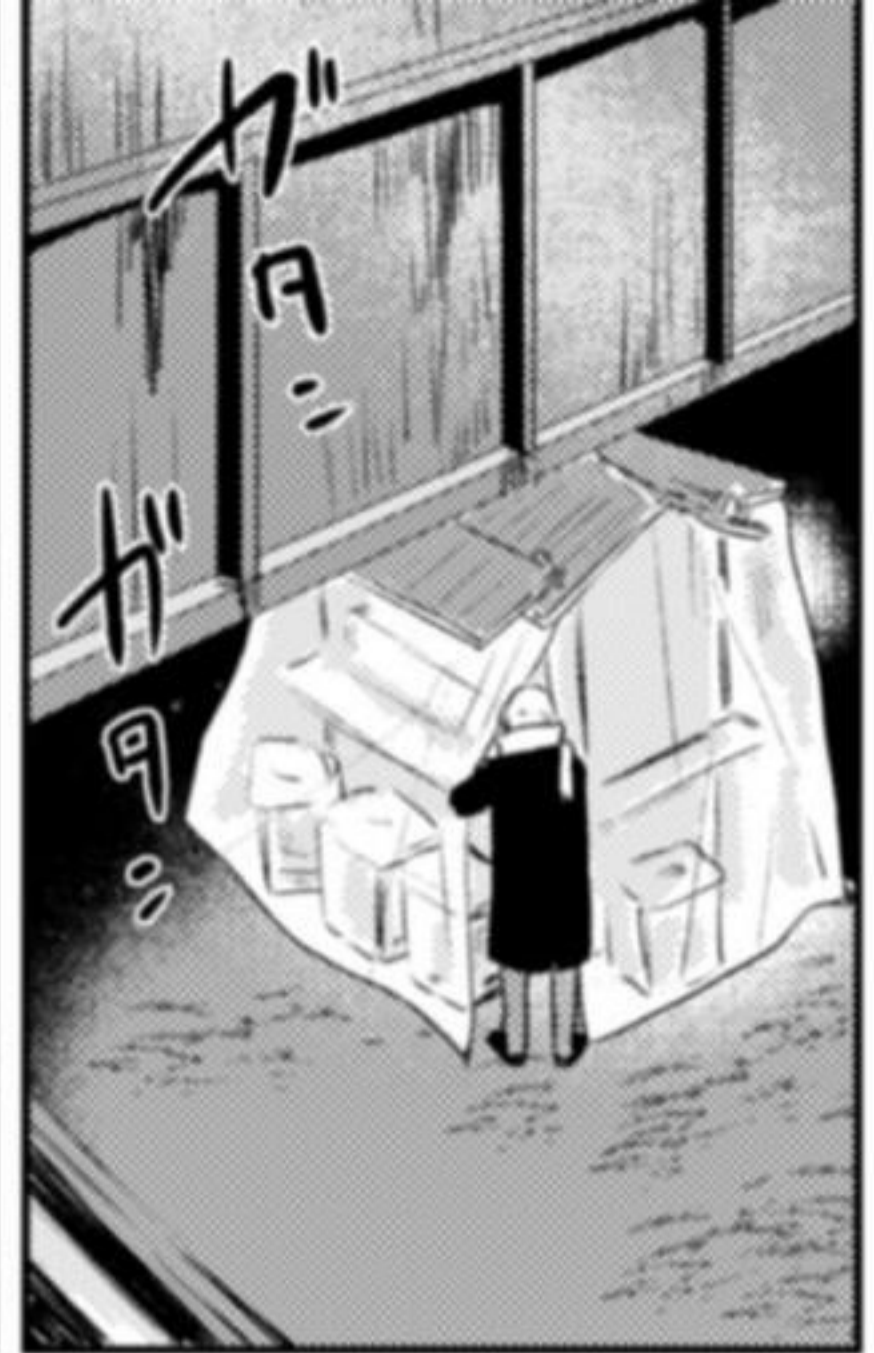


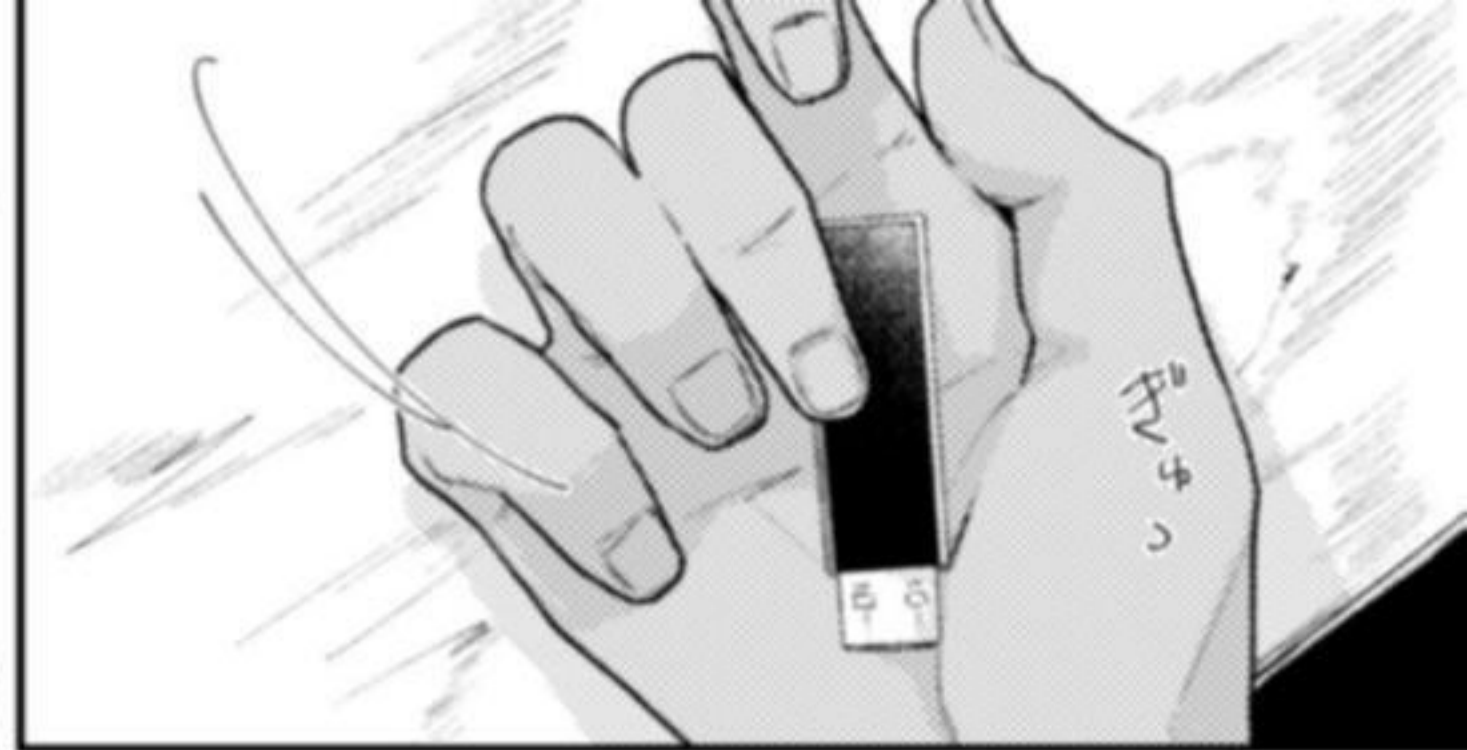


ATTENTION

- 組織壊滅後設定
- オリキャラ
- あやふやな謎解き要素
- 終始片思い(降→新からの降新?)

- 自分の性癖にしか配慮してません







この店は
都内を転々と
しててよお
情報通なんだ

なあ？
親父!!

安室君も
覚えておいて
損はねえよ
つて…

必要ねえ
か？

同じおんな
おんな

この方が
元公安だとは
知らないのか
でも毛利先生
侮り難し…

あい



就職した
んだろ？

ビジネススーツなんて
前は着たことなかった
じゃねえか

ほ
ゆ
ち
ち

まあ
どっちでも
構わねえけどよ



えいや
これは…

今日は珍しく
奢りたい
気分なんだ…
付き合え!!

でしたら…
お言葉に甘えて

あ
ごいっ











ねえ先生…



ららん…

怪我なんかしたら…

その蘭さんが心配しますよ？

つかまつるぜきり



今度は僕の話

聞いてもらってもいいですか？

ういぞう

この名探偵毛利小五郎が

なんつでも聞いてやろうじゃねえか



帰っても誰もいねえんだ…

心配なんかされつかよ…



幸せになれよお…

ずる

育つことができない気持ちは
月日をやり過ごすばかりで
純白の外側とは裏腹に
中は見るも耐えない姿なのだ







それなら
そうと早く
言いやがれ!!

ぽんぽん



もちろんただ
とは言いませ
んよ!



手土産に
幻の日本酒も
ご用意させて
いただきまし
た!



はいっ!!こちら
毛利探偵事務所!!



お!
旨い酒に
依頼たあ
幸先いい
じゃねえか

僕これ
仕舞って
おきますね



家を出たと聞いて
油断したな…

なんで
って…
実家に帰って
きて何が悪い
のよ

って…
お父さんったら
やっぱり散らか
して!!

蘭!?

なんで!?

も

安室さん!!

お久し
ぶりです
蘭さん…

…と

そちらは
工藤新一君
かな?

僕でしたら
おかまいなく

来客中…
でしたか?

ウソ!!
この散らかり
様でお客様
通したの?

前に話した
でしょ?
以前ポアロで
アルバイト
してた安室さん

ハッ

お久しぶり





付け入る隙がある
なんて知りたくなかった









お願いだからほどかないで
この繭はそんなに綺麗に
紡がれる資格なんかない
出て来たところで
中に居るのはただの死骸だ



カ
タ
シ

コ
ト
シ

カ
タ
シ

カ
タ
シ

カ
タ
シ

軽井沢に別荘をもつ
資産家の兼崎孝之助氏が
先月、病院にて静かに
息を引き取った

何でも兼崎氏は生前より
ミステリ好きで、
それが高じて遺書に
暗号を仕込み…

見事謎を解いた者に
遺産を全て相続させる
という事らしく…

兼崎氏の莫大な
遺産をめぐる

血縁者である息子の
兼崎孝一氏から
依頼を受けたのが
おじさんで

その妹の
兼崎幸枝夫人に
依頼されたのが
僕である…

と、ここまででは
共通認識で
いいですか？

ゴロン

ゴロン





関わらないと決めたのに



探偵は俺らだけで十分だったの

依頼は同じでも依頼人が別ですの
今回は退けません



我ながら執着心が強い...

結果こうして接点を追ってしまうのは

惚れたせいなんだろうなあ

ガリッ





そんな若造
一人に何ができる
っていうんだ!
顔で選んだんじゃないか?
あら量より質って
言葉ご存じ??
そっちこそただの
落ちぶれじゃない?

このは
厚化粧!!
似合わないから
落としてんじゃないの
かよ!!



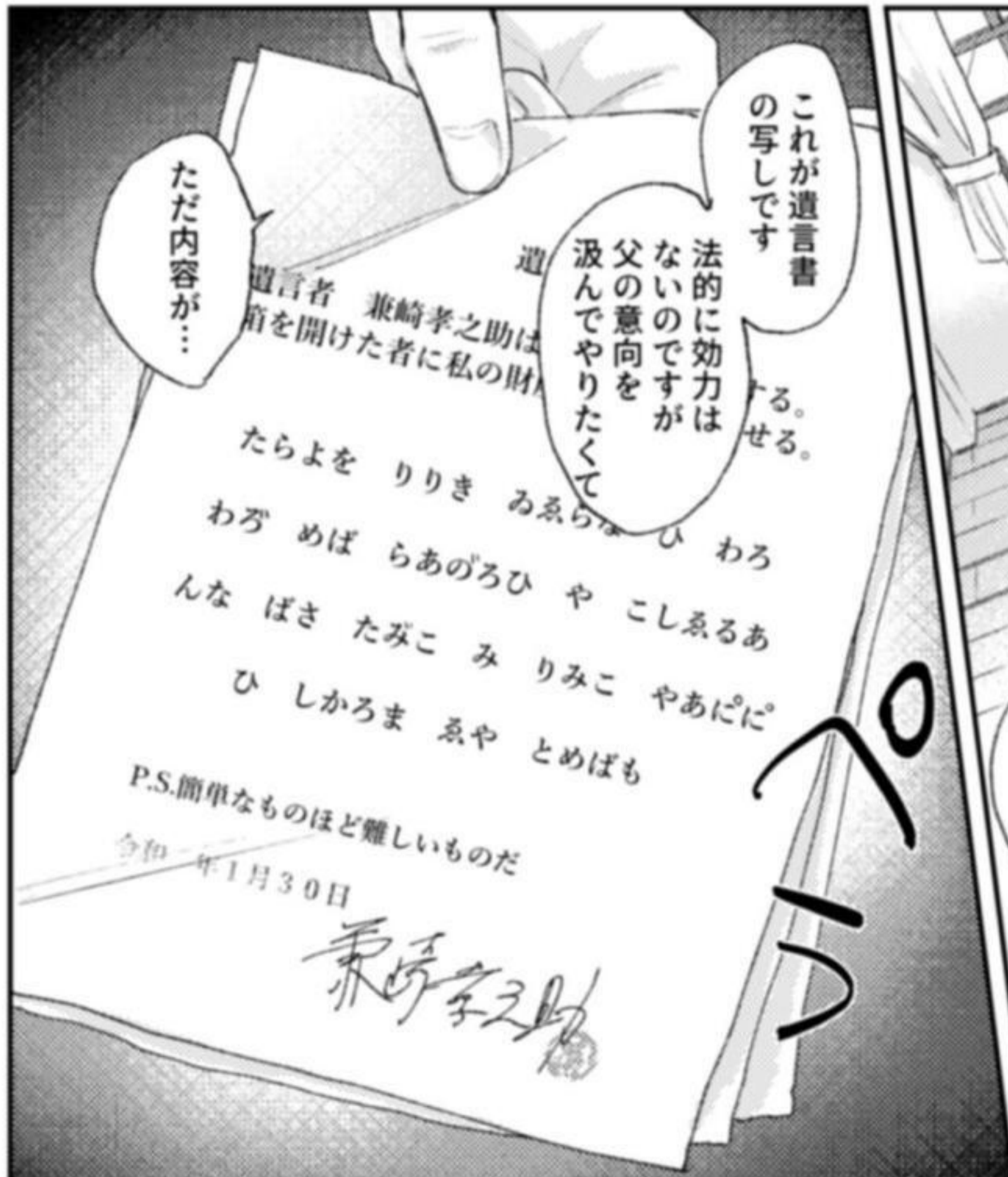
あら一度も
私に勝った
ことがない
兄さんに
言われたく
はないわね?

かねざきゆきえ
兼崎幸枝(52)
インテリアデザイナー



今日と言う今日は
完膚なきまでに
打ちのめしてやる!

かねざきこういち
兼崎孝一(53)
建設会社社長



ただ内容が...

これが遺言書
の写しです
法的に効力は
ないのですが
父の意向を
汲んでやりたい
と願っています。

遺言者 兼崎孝之助は
前を開けた者に私の財
たる。せる。
たりよを りりき りんあひ わろ
わろ めば らあのろひ や こしるあ
んな ばさ たみこ みりみこ やあにに
ひ しかろま ゑや とめばも
P.S.簡単なものほど難しいものだ
令和一年1月30日
兼崎孝之助



まあまあ
お二人とも...
まずは先生方に
ご依頼の件の
遺言書を見せて
いただけないで
しょうか?

安室さん
ナイス

ああ
そうだった



箱を開けろ
というのとは？

おそらく
寄木細工や
からくり箱の
類かと…
親父の倉庫に
百個ほど積まれて
ましたから！

ひゃ…
百個お？



本当に
暗号…

ですね…



任せて
ください！

こういう
妹だから
嫌になった
んです
毛利先生！
絶対にアレより
先に解明して
くださいね！



兄は私に
先に解かれるのが
嫌ですすぐ投げ出し
ていましたけど

私たち兄妹も
幼いころは
二人でよく
遊んでました



父は
こういった類の
暗号やパズルに
目がなくて

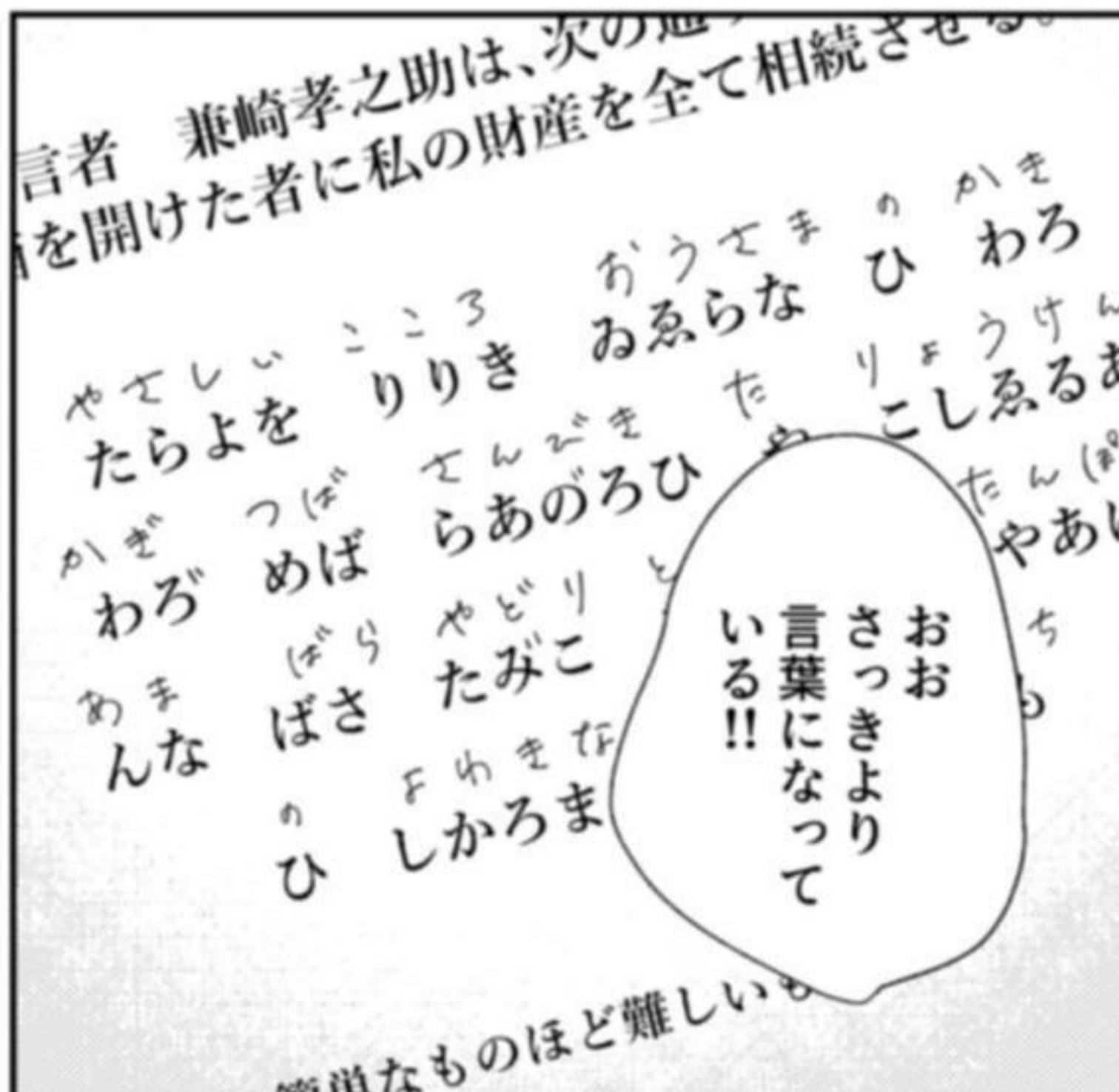


さすがに君には
簡単すぎるか…

なら遠慮は
いららないな



キラ



一見出鱈目な
文章を一定の
文節置きに読むと
正しい文章が
読み取れるという
暗号です

A book to secret the weather
makes in over a kind alcohol
woman shining of woman.



P.S.簡単なものほど

ご主人の心当たり
から推測して
シンプルに
一つおきに読んで
いくと...

やさしい ころろ おうさま の かき
かぎ つば さんびきの た りょうけん
あま ばら やどり と ことり た
の よわきな うた みつばち

どの言葉も
子供のころに
父から聞いた
気がする

仕事で忙しい人でしたから
この別荘に休暇で来る時
くらいしか構ってもらえ
ませんでした...

この「やさしい王様」
ってのも
懐かしいなあ

妹にパズルで勝てない
私が、つい手を上げて
しまったことがあって

母に酷く
叱られて
書齋に隠れて
いた時
父が話してく
れた物語です

目に見える
勝ち負けが
全てじゃない
んだぞって

少し教訓めいてた
ので当時はあまり理解
できなかったんですけどね





気の遠くなる話ですな!!

とりあえず倉庫にある箱を持って来させましょうか



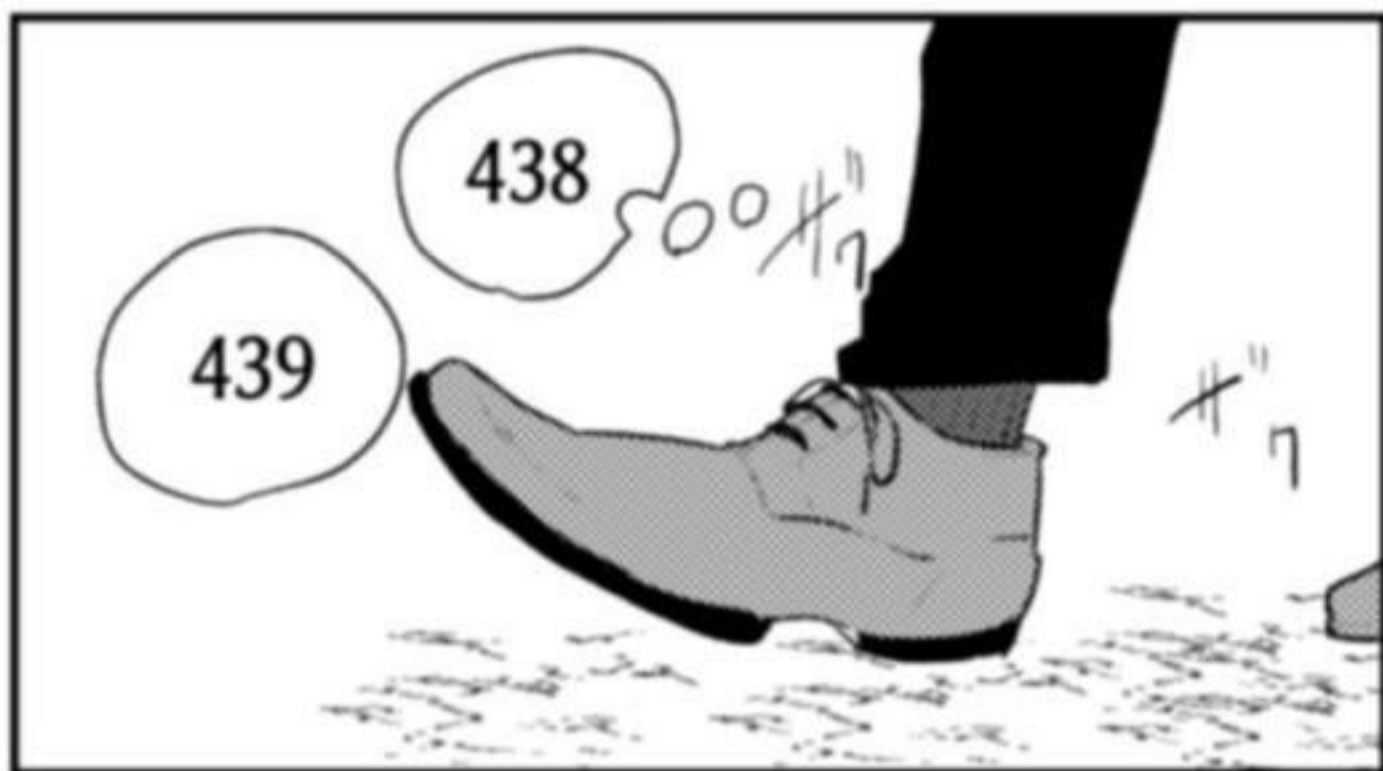
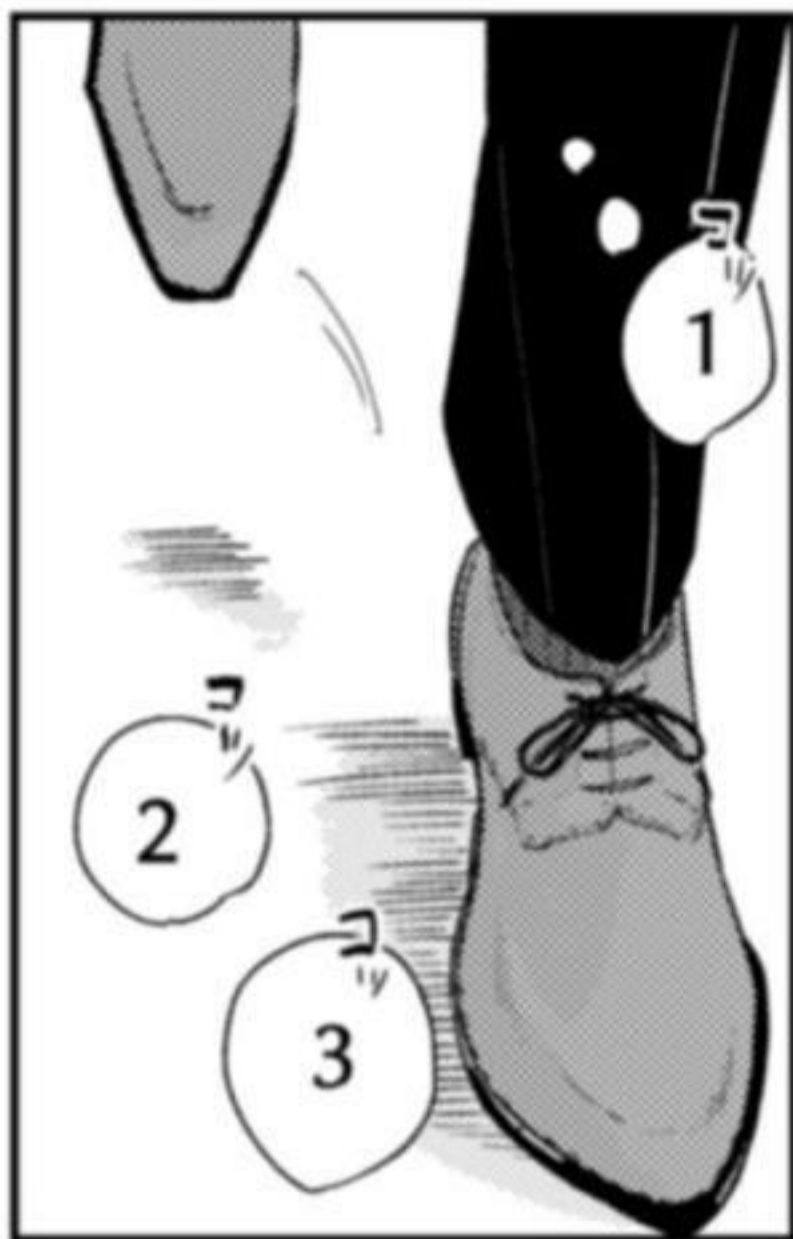
なるほど当事者しか知りえないエピソードが鍵になってんのか

しかし意味のある言葉にはなったところで次は何すりゃいいんだか



にしても箱に入る財産なんてたかが知れてるでしょう俺ならこんなんでっかい別荘があればなーんも文句ないですがね!









なるほど



だから
あの言葉…



考える事は
同じか…



でも
そうなると
この先は
僕たちじゃ
解決できない

対局にいる君と
思考が繋がる



一時休戦
…?

これは恋なんて
俗物的なものじゃない



だね…

それ以上の
感覚だ…



ああ、離したくないな

なにっ!?
謎が解けた
だど?

それは…

どっちの
探偵が?

正確には
今から
解かれると言う
方が正しいでしょう
順を追って
お話します…

まず第一に
遺言書…

これは皆さんも
お気づきのようで
二つの暗号によって
正しく読み解ける
ようになっていました
しかし正しく読めた
からと言って謎が
解けるわけでは
ありません
開けるべき箱は
分からぬままです

そこで
毛利探偵が
拔群の推理により
箱を見つけました

俺え?

仰ってましたよ?
〈この別荘〉自体が
その箱なんだと

言ってた
言ってた

そう
だったか?

屋敷の外周と各部屋の間取りを確認するとおかしな空白地帯が導き出されました

おそらく隠し部屋があります

さらに建物の年代は不釣り合いなセンサー付きの真新しいドアノブの部屋が複数...

セキュリティを考へての事なら全ての部屋に取り付けられていないのは不自然です

では、このセンサーで何をしたかったのか？これはまだ推測でしかないんですが

決まった順番で暗号の答えに深く関係するこの屋敷のどこかの部屋を開くことによって隠し部屋への扉が開くのでしょうか

まさにお二人がかつて遊んでいたからくり箱のように

建築を生業としてきた孝之助氏なら自宅に細工をすることも可能ですしね

だったら早く実行してちょうだい！

そうはいきません

この謎には続きがあります

「簡単なものほど難しいものだ」

遺言書の最後のメッセージです



遺言書の
二つの暗号…

これは言うならば
初歩の初歩です
『暗号』とネットで
検索すればすぐに
出てくるので
ともすれば
お二人にも解けた
かもしれません

じゃあ
いったい何が
難しいのか…



どうした？

あ、
いや…

では次は
幸枝さん



孝一さん、
こちらが解いた
暗号文を読み
上げてください
ますか？

あ、ああ



〈心の鍵〉
〈三匹の猟犬〉
〈薔薇と蒲公英〉
〈弱気な蜜蜂〉

同じ暗号なのに
答えが違うだど!?



〈やさしい王様〉
〈カキツバタ〉
〈雨宿り〉
〈小鳥の歌〉…

ええ!?

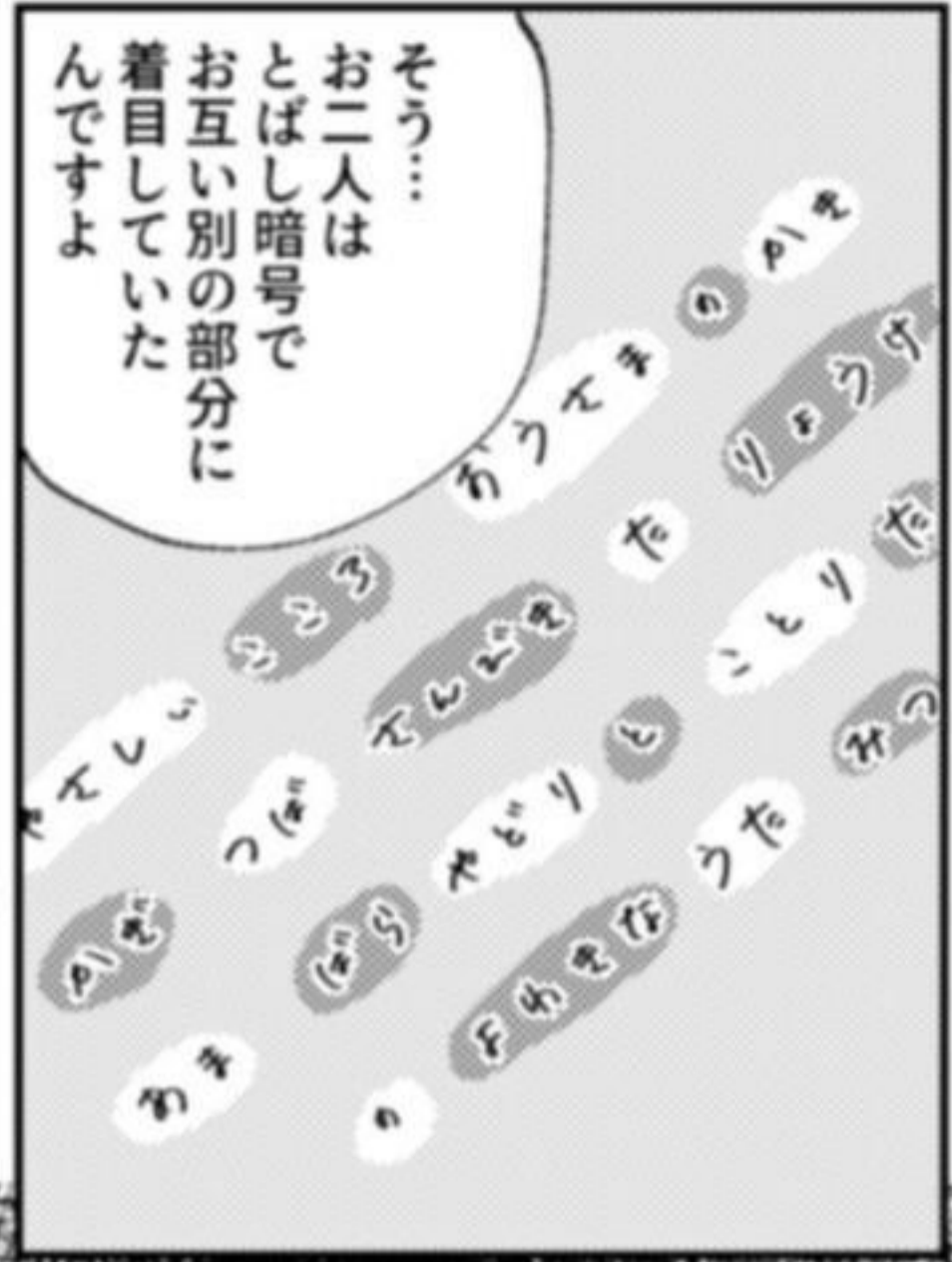


この家で



ただの
昔話よ…

幸枝さんは
出てきた単語に
覚えがあると、
思い出話を聞か
せてください
ましたね？



そう…
お二人は
とばし暗号で
お互い別の部分に
着目していた
んですよ



今みたい
なる前の…



いたって
普通の
思い出よ

家族全員で
過ごしてた頃の



お分
かり
の通
り…



普通の日常…

どこの家族
にもある

読み上げて
いただいた
各々の単語だけ
では隠し部屋を
開けることは
できない

最後の謎は
それぞれの記憶の
中にある答え…

それを
組み合わせる
ことで初めて
解き明かされ
ます

お二人が
依頼した
探偵勝負は、
毛利探偵が
箱の正体を

あとはお二人が
協力できるか
どうか…

そして
僕が箱の所在を
突き止めたことで
引き分けです

ですから
以上が…

これは僕の
お節介な推理に
すぎないのですが

孝之助氏はお二人に
仲直りをしてほし
かったのではない
でしょうか

僕がのせんだ選ばない
結果を導き出す

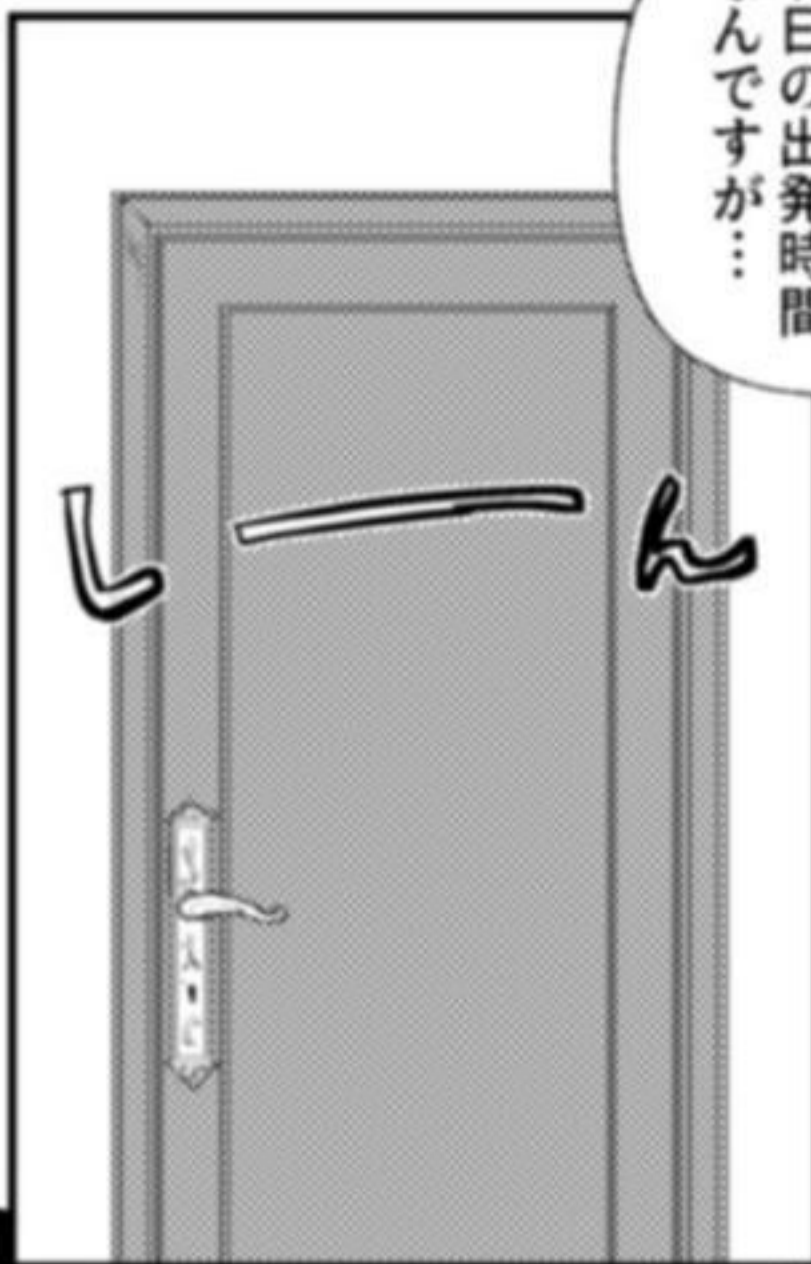
嫌になるくらい
まっすぐで
僕とは似ても
似つかないのに

だから
目が離せなく
なるんだ

全く君は…

一度紡ぎ始めた糸は
くるくると
止まることなく
繭から離れて

自分の意志など
そこには無くて
何もしていかないのに
景色だけが変わっていく







お父さん
だと…



で、なんて
言ったと
思う？

アイツな…
蘭と駄目に
なった後
俺んところ
一人で頭下
げに
来たんだ



付き合っ
てる間
一度も
言った
こと
なん
かなか
った
くせに

別れて
から
言い
やが
る
から
よ



一度
言っ
て
みた
かっ
た
ん
で
す



すみ
ませ
ん



俺、
頭に
きち
まっ
て

今のお
前に
言わ
れた
か
ねえ!!

一発
殴っ
て
やっ
た







一人で飲みたい気分になった...

今日はもう外してくれるか？

明日のことはメールで教えてくれよ

それから.....



いや〜！柄にもねえこと言っちゃまったなあ

安室君悪い...

安室君の
話は今度
聞かせてくれ



僕の依頼はもう
解決してもらいましたよ



名探偵……
毛利小五郎先生

やっと
帰ってきたさ

車回して
きますね







シート
替えました?

何度も
修理に出す
くらいには

酷使してる
ってこと
ですか?



都度カスタマイズ
してるからね
何度か張り替えては
いるけど、どうして?

はは...

何のこと
かな?







キラ

〈僕〉が
気になる？

お、おう
そりゃあ…

それでも負け試合と
決まったわけじゃない

そっか
そっか…

降谷さんが
謎すぎなん
だつて!!



いっ



そうだな

ワ

でも君について
大抵のことは
知っている
からなあ

今のままだと
僕にメリットが
ないね…

あ…

工藤君は
この後時間
ある？

依頼とかは
特に入って
ないけど

名探偵
毛利小五郎が
答えてくれた

変わらない
ものは何もない

ささげー!

それは君も

僕もだ

なら

僕の遠回りに
付き合っ
てくれないか？

